

ごあいさつ

看護部長 福井ミヨ子

あの大震災から7カ月がたちました。！！

立秋とは名ばかり、暑い毎日が続いております。

西神戸医療センターが開院して丸一年が過ぎました。当センターは震災の影響も少なく、本来の病院の機能を十分に果たすことができたこと、又、5月には全床オープンして、ますます多忙な毎日が続いております

1月17日5時46分、震度7の大震災、勤務していた皆さん個々の判断で行動し、患者さんの安全に最大の努力がなされ無事であったこと、卒後一年目の人、二年目の人、又その時リーダー業務をしていた人、看護婦という職業意識なのでしょうか、皆さんの力の大きさを頼もしく思います。

この度の地震で多くの人から、人生観が変わりましたと聞きます。被災された皆さんも同じ思いをしている人もいると思います。私もその一人です。勤務先であるポートアイランドに向かう途中のことですが、雨も降っていないのに路面は水浸しで、アスファルトの道路は土の道に変わっていました。液状化現象というそうですが、マンションの上層階に住んでいた人は、この現象を観て、海に沈んでいくのではないかと恐怖におののいたと聞きました。思いもよらない人工島の異変に出会いました。

震災から7カ月が過ぎ、避難所は8月20日で閉鎖されました。まだまだ気持ちの整理ができずに不安定な状況が続いている人もいると思います。

西区にも仮設住宅が建ち、当センターにも患者さんが訪れてこられます。

これからも多くの新たな問題が生まれてくると思われます。

今回、震災により多くのものを失いました。しかし、忘れかけた人の暖かさ思いやり人間の力強さなど、多くのことを学ばせてもらいました。

この度、震災の手記「あの日 あの時 そして今」をまとめ、一人一人の貴重な体験を多くの人と共有し、今後の糧としていきたいと思ひます。

平成7年8月

神戸大学人社系図



00099034244